

本号の内容

- ・全日本オリエンテーリング大会における死亡事故の調査・検証について
- ・東京 2025 デフリンピック オリエンテーリング競技報告
- ・世界 MTBO 世界選手権大会(WMTBOC2025)報告
- ・アジアジュニアユースオリエンテーリング選手権(AsJYOC2025)報告
- ・第 34 回全日本リレーオリエンテーリング大会開催報告
- ・今後の公認大会・講習会のお知らせ

●全日本オリエンテーリング大会における死亡事故の調査・検証について (副会長: 村越真)

2025 年 10 月 4 日(土)に開催された第 14 回全日本オリエンテーリング大会(ミドル・ディスタンス競技部門)において、レースから帰還せず捜索されていた高齢の男性競技者につきまして、10 月 18 日(土)、有志の皆さまと日本オリエンテーリング協会役員による捜索によりご遺体を発見し、10 月 28 日(火)に警察により当該競技者であることが確認されました。

ご遺族の皆様に心より哀悼の意を表するとともに、深くお悔やみ申し上げます。

捜索にあたりご尽力いただいた栃木県警察本部、那須塙原警察署、今市警察署、那須塙原市消防団および同塙原支団、那須地区消防組合、日光市消防本部、栃木県消防防災航空隊の皆様、ならびにオリエンテーリング諸団体・競技者の皆様に、深く御礼申し上げます。また、捜索中には弊協会関係者の方が負傷される事故も発生しており、負傷された方に心よりお見舞い申し上げます。

当協会は今回の事案を極めて重く受け止め、すでに 10 月 14 日の安全対策オンライン説明会でお知らせした諸対策(競技エリア逸脱可能性の低減、ホイッスルの携帯、通信手段携帯の推奨、位置情報把握システムの導入、安全対策周知)を速やかに実施するとともに、警察による現場検証・捜査結果を踏まえて、事故発生の背景や大会運営における安全管理体制の課題を分析してまいります。

加えて、本件に関する包括的な調査・検証を以下の体制で進めてまいります。

外部有識者を交えた調査・検証の実施

JOA 内の「危機管理コンプライアンス委員会」を主体とし、法務・山岳スポーツリスク管理に関する外部有識者の助言を受けながら調査・検証を行います。

3カ月以内の調査報告書公表

調査結果は 2026 年 1 月中を目処に報告書として取りまとめ、JOA 公式ウェブサイトにて公開する予定です。報告書では、事故の経緯、安全管理体制の課題、関係機関との連携状況、再発防止に向けた具体的提言を提示します。

安全体制の抜本的見直しと再発防止策

位置情報把握システムの導入、テレイン周辺部でのパトロール強化、トラブル発生時の対応の参加者への周知、参加者の技術・体力レベル・年齢に応じた安全配慮、主催者向けリスクマネジメント研修、地元警察・消防との事前調整など、複合的な対策を検証しながら実装してまいります。「競技の自由と挑戦の魅力を損なわずに、安全を確保する」ための新たな制度づくりにも取り組みます。

当協会は、多くの方々に安心して自然の中での活動を楽しんでいただける環境を提供するべく、引き続き全力で再発防止と安全管理の強化に努めてまいります。

参加者の皆さま、ボランティア・スタッフの皆さま、関係機関の皆さまには、改めてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

参加国:16カ国(過去最多参加国数)
 (日本、中国、台湾、ブラジル、リトアニア、スウェーデン、
 ハンガリー、ウクライナ、アメリカ合衆国、チェコ共和国、
 フィンランド、エストニア、イスラエル、ドイツ、トルコ)

会場:日比谷公園・日比谷エリア(11/15~11/16)、
 伊豆大島(裏砂漠)(11/20, 11/21, 11/23)



11月15日 スプリント

男子

1	LEVYTSKYI Nazar	UKR	12:57
2	LEVIN Dmytro	UKR	13:54
3	FEDOSENKO Volodymyr	UKR	14:00
10	小嶋 太郎	JPN	15:59
15	児玉 健	JPN	17:28
	尾田 繼之	JPN	DISQ

女子

1	VANASAUN Anna	UKR	11:57
2	FEDOSIEIEVA Hanna	UKR	12:16
3	ANDROSOVYCH Hanna	UKR	12:40
11	三宅 裕子	JPN	22:46
18	中森 恵美子	JPN	33:06
	辻 悠佳	JPN	DISQ

11月16日 スプリントリレー

1	Ukraine	48:22
2	Lithuania	48:31
3	Hungary	56:02
5	Japan	1:04:29 【入賞】
1走	辻 悠佳	13:14
2走	堤 大揮	17:44
3走	児玉 健	15:29
4走	上園 久美子	18:01

11月16日 スーパースプリントリレー

1	Finland	25:13
2	Ukraine	25:15
3	Lithuania	25:29
6	Japan	30:01 【入賞】
1走	辻 悠佳	04:59
2走	小嶋 太郎	04:14
3走	辻 悠佳	05:54
4走	小嶋 太郎	04:23
5走	辻 悠佳	05:55
6走	小嶋 太郎	04:34

11月20日 ミドル

男子

1	FEDOSENKO Volodymyr	UKR	34:05
2	MIHALYI Ferenc	HUN	36:44
3	MAKUTENAS Mikalojus	LTU	39:26
10	堤 大揮	JPN	1:01:24
18	木村 修	JPN	1:34:41
19	丘村 彰敏	JPN	1:40:48

女子

1	MELNYK Iana	UKR	46:24
2	ANDROSOVYCH Hanna	UKR	50:47
3	PANGRACOVA Marie	CZH	52:42
6	辻 悠佳 【入賞】	JPN	1:04:20
	上園 久美子	JPN	MP
	三宅 裕子	JPN	MP



写真: 大会公式 YouTube、デフリンピック委員会提供

11月21日 ロング

男子

1	LEVYTSKYI Nazar	UKR	1:15:42
2	FORSBERG R. Nils	SWE	1:23:28
3	KOVECKIS Rokas	LTU	1:23:49
15	堤 大揮	JPN	2:04:57
20	小嶋 太郎	JPN	2:12:38
25	児玉 健	JPN	2:27:18

女子

1	DIRZIUTE Gedvile	LTU	1:24:10
2	MELNYK Iana	UKR	1:24:41
3	FEDOSIEIEVA Hanna	UKR	1:27:33
	辻 悠佳	JPN	MP

11月23日 リレー男子

1 Ukraine	1:44:01
2 Sweden	2:17:07
3 Hungary	2:31:42
6 Japan	2:51:42 【入賞】
1走 堤 大揮	51:16
2走 児玉 健	1:01:23
3走 小嶋 太郎	59:02



1月発行の JOA ニュースでは、各選手からのコメントを紹介する予定です。

●世界 MTBO 選手権大会(WMTBOC2025)報告

(MTBO 委員会 加納尚子)

2025 年の MTBO 世界選手権大会は 8 月 11 日～ 8 月 18 日の期間中、ポーランドのワルシャワで開催されました。

今年の日本チームは Men 4 名、Women 1 名、オフィシャル 1 名で参加となりました。

メンバーは、この数年継続して代表選手として出場している綾野選手、羽鳥選手、加納選手に加え、SKI-O の World Cup に出場経験を持つ安達利雄選手、日本国内の MTB やシクロクロスの選手として活躍している佐野光宏選手が出場しました。また MTBO チームでは初の試みとして、国内外のプロロードチームのスタッフとして活動されている西應唯花さんにオフィシャルとして参加いただき、Team Official Meeting から各選手のマッサージ、食事手配等幅広くサポートいただきました。



羽鳥選手



安達選手

今回の世界選手権大会では、昨年までジュニアに出場していた綾野選手がエリートカテゴリーに上がり、Mass Start 競技で 45 位を獲得したことは大きな成果でしたが、全体的に見れば個人競技、Relay 競技ともに苦戦した結果となりました。初参加の選手が 2 名いたことがありますが、ポーランドのテレインは、日本国内では経験できない軍事施設内の細かい地形や砂地のフォレスト、非常に細かいパスのネットワークといった特徴を有しており、これらの対応に苦戦し大きなミスをする選手が多くいた印象です。

例年、日本チームは大会の 1 週前には選手が現地入りし、対策を行っていますが、その期間では対策しきれない部分で他国



綾野選手

写真：大会公式 Web サイトより

との差がついてしまいました。テレイン対策やヨーロッパ特有の森への適応は例年の課題ですが、今年は特に大きく結果に表れてしまったといえるでしょう。

ただし、今回初めてオフィシャルに帯同してもらったことは、チームにとって非常に助けになりました。今まで選手同士でお互いに事務を分担することでこなしていましたが、この体制では選手がレースに集中しきれない点で問題でした。機材スポーツである MTBO 競技大会への参加には選手以外のオフィシャル、マッサー、メカニック等のスタッフは必要であり、そのような形に近づくことができた点でも大きな意味があったと思います。

またオフィシャル募集活動の中で、オリエンテーリング業界以外の人脈を広げたことも、MTBO の知名度拡大に大きく寄与したと考えています。

あと MTBO 日本チームには、現時点では強化・選手発掘・チーム運営といった点で多くの課題が存在しますが、これからも各種目のベストリザルト更新や、女子リレーチーム出場のための選手発掘といった各課題に取り組み、次年の世界選手権遠征につなげていきたいと考えています。

最後に、MTBO チームの活動に、各方面から応援いただき、本当にありがとうございました。



チーム写真（前列左が西應オフィシャル）

※年末恒例 MTBO イベントのお知らせ

2025 年 12 月 30 日に、愛知県知多半島にて MTBO イベント + 焚火を囲んでお餅つき、なイベントを開催します。現地で活動されている季の野の台所様のご協力をいただいているます。

初心者から気軽に参加できる内容です。MTB のレンタル、レクチャーにも対応します。

詳細は MTBO JAPAN の Facebook に掲載しますので、この機会に、興味のある方のご参加をお待ちしています。

<https://www.facebook.com/groups/mtbojapan>

●アジアジュニアユースオリエンテーリング選手権(AsJYOC2025)報告

(チームオフィシャル 宮本樹)

2025 年 8 月 26 日～30 日に愛知県設楽町・新城市で開催された AsJYOC に、日本から男子選手が各世代 6 名ずつの 24 名、女子選手が W14 に 3 名、W16 に 2 名、W18 に 4 名、W20 に 6 名の 15 名、選手総勢 39 名で参加した。今大会の選手選考は JWOC と同様の走力基準と中高選手権や全日本大会の成績、日本ランキングなどを用いて行い、一部女子選手は追加の選考を実施した。

○スプリント個人種目

公園内の陸上競技場や庭園を使用したコースであった。人工柵を用いたマクロなルートチョイスや基本的なナビゲーションスキルが問われた。W20 では佐々木結佳が、W16 では石井百花が、M16 では西川稜真が優勝した。

○スプリントリレー種目

スプリントリレーは 1 チーム男女 2 名ずつ計 4 名で構成される。各カテゴリーにおいて各国 3 チームエントリーできるが、人数のそろわなかつた W/M18 、W/M16 、W/M14 クラスでは他国メンバーとの混成チームでも出場した。メンバー選考は基本的にスプリント種目の結果をもとに実施した。全 4 クラス中、M/W20(山本美沙-斎藤大己-中村涼太-佐々木結佳)と M/W16(石井百花-西川稜真-伊藤道隆-勝田夏妃)の 2 クラスで優勝を果たした。

○ミドル個人種目

ミドル種目は、急峻ながら尾根上は緩く広がっており、分岐する尾根沢を正確にとらえる難しさがあるテレイン

であった。全 8 クラス中 7 クラスで優勝するという快挙を成し遂げた。各クラスの優勝者は、W20 佐々木結佳、M20 石原尋季、M18 畑田裕志、W16 石井百花、M16 野本凜太郎、W14 勝田有美、M14 内山尊。佐々木結佳はアジアジュニアチャンピオン 3 冠、石井百花は小学 6 年生ながらアジアユースチャンピオン 3 冠となつた。

○総括

日本開催での AsJYOC であったため、テレインやコースになじみがあることもあり各クラスで好成績を収めることができた。一方で、スプリント種目ではジュニアクラスを中心に中国や香港が台頭している。スプリント種目では特に走力の差が如実にタイム差として出やすい。選手選考にあたり走力基準を設けているが、この”基準タイム”を切ることを目標にするのではなく、より厳しい”加点タイム”を目標に継続的なトレーニングを期待したい。今回代表として集った仲間たちと切磋琢磨しつつ時には一緒にトレーニングするなどしてお互いに高めあっていってほしい。

一昨年の香港、昨年のタイでの開催に引き続き、テレイン研究を熱心に行っていた選手が好成績を収めた。香港チームは事前に日本でトレーニングをしており、日本のテレイン対策をしっかりと行っている。来年は中国開催であるが、実際に中国のテレインに入ることは難しいかもしれないが、衛星写真や各種公開情報をもとにテレイン予想をする、中国でのオリエンテーリング情報を収集するなどの対策が求められるだろう。

最後に本大会の出場にご理解いただいた選手の保護者、ご支援いただいた各関係者、多大なる労力を割いていただいた運営者の皆さんに感謝をいたします。引き続きジュニアチームへのご支援をいただきますと幸いです。



写真：ナショナルチーム提供

●第 34 回全日本リレーオリエンテーリング大会 開催報告

(滋賀県オリエンテーリング協会 平島俊次)

2025 年 11 月 9 日、滋賀県高島市にて第 34 回全日本オリエンテーリング大会が開催されました。天気は生憎の雨となりましたが、川の増水も安全に影響がない程度で、大きなけが人もいませんでした。また選手権クラス 146 チーム一般クラス 3 チーム、455 名が出走しましたが、心配した未帰還者発生や熊の目撃情報も無く無事終了することができました。

今回は未帰還者対策として、65 歳以上の高齢者と XJ クラスの若年者には、リレーでは初めてココヘリを貸与して携帯を義務付けました。結果として幸いにもココヘリでの捜索は発生しませんでしたが、安全対策の一つのツールとして有効と考えます。

地元朽木柏地区のかた、グリーンパーク想い出の森施設管理のかた、高島市職員のかた、その他の皆様のご協力のおかげで予定通り大会を開催することができました。ありがとうございました。



写真：木植早生様

大会 Web サイトにて、大会報告書や結果、写真等を公開しています。

第 34 回大会サイト <https://orienteering.sakura.ne.jp/jroc/2025shiga/>

団体総合成績

1位 東京都	37点
2位 千葉県	33点
3位 埼玉県	30点
4位 愛知県	29点
5位 神奈川県	23点
6位 静岡県	16点



●今後の公認大会・国際大会・講習会のお知らせ (事務局)

2026年

2月 8日	第18回全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)	(兵庫県)
2月 21-22日	ナヴィゲーション講習・スキル検定 シルバーレベル	(愛知県)
2月 28日-3月 6日	WUSOC2026 スキオリエンテーリング世界選手権	(北海道)
3月 10-20日	イベントディレクタ認定試験	
3月	ナヴィゲーション講習・スキル検定 ゴールドレベル	(大阪府)
11月 15日	第35回全日本リレオリエンテーリング大会 ※予定	(秋田県)

2027年

5月 21-29日	WMOC2027 マスターズ世界選手権	(兵庫県)
-----------	---------------------	-------

世界MTBO選手権大会(WMTBOC)2025 成績抜粋

大会公式サイト <https://wmtboc2025.pl/en>

8/12 Sprint

Men

1	Krystof Bogar	Czechia	22:55
2	Miika Nurmi	Finland	24:09
3	Andre Haga	Finland	24:18
50	綾野尋	Japan	34:20
59	羽鳥和重	Japan	46:07
64	安達利雄	Japan	1:13:18
DNF	佐野光宏	Japan	

Women

1	Ruska Saarela	Finland	24:01
2	Celine Wellenreiter	Czechia	24:26
3	Tilda Palm	Lithuania	24:27
3	Jana Hnilica	Austria	24:34
41	加納 尚子	Japan	39:16

8/13 Middle

Men

1	Andre Haga	Finland	1:00:02
2	Jussi Laurila	Finland	1:01:00
2	Miika Nurmi	Finland	1:01:00
4	Lauri Malsroos	Estonia	1:01:10
4	Samuel Pokala	Finland	1:01:10
66	綾野 尋	Japan	1:38:04
71	佐野 光宏	Japan	3:05:35
MP	羽鳥 和重	Japan	
DNF	安達 利雄	Japan	

Women

1	Martina Tichovska	Czechia	0:55:41
2	Gabriella Gustafsson	Sweden	0:57:33
3	Ruska Saarela	Finland	0:57:43
40	加納 尚子	Japan	1:24:05

8/14 Mass Start

Men

1	Vojtech Ludvik	Czechia	1:21:03
2	Tomi Nykanen	Finland	1:21:05
3	Bartosz Niebielski	Poland	1:21:06
50	綾野 尋	Japan	1:49:33
55	羽鳥 和重	Japan	1:56:31
62	佐野 光宏	Japan	3:11:48
DNS	安達 利雄	Japan	

Women

1	Nikoline Splittorff	Denmark	1:24:03
2	Camilla Soegaard	Denmark	1:27:24
3	Gabriella Gustafsson	Sweden	1:27:36
35	加納 尚子	Japan	2:09:50

8/16 Long

Men

1	Vojtech Ludvik	Czechia	1:48:51
2	Krystof Bogar	Czechia	1:51:59
3	Bartosz Niebielski	Poland	1:52:45
46	綾野 尋	Japan	2:24:04
47	佐野 光宏	Japan	3:57:23
MP	羽鳥 和重	Japan	
DNS	安達 利雄	Japan	

Women

1	Ruska Saarela	Finland	1:33:21
2	Nikoline Splittorff	Denmark	1:33:39
3	Ursina Jaeggi	Switzerland	1:36:07
38	加納 尚子	Japan	2:19:54

8/17 Relay

Men

1	Czechia 1	2:00:36
2	Finland 1	2:00:37
3	France 1	2:03:52
4	Switzerland 1	2:03:53
5(6)	Lithuania 1	2:03:55
6(9)	Italy 1	2:08:13
16(24)	Japan 1	3:20:01
綾野 尋	1:03:44	1:03:44
羽鳥 和重	58:34	2:02:18
加納 尚子	1:17:43	3:20:05

AsJYOC 成績抜粋

スプリント

W20 3.3km 30m↑ 14 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	佐々木 結佳	Japan	0:15:21	5:07	100.0
2	山本 美沙	Japan	0:15:54	5:18	103.6
3	Mila Lu	Japan	0:16:05	5:22	104.8
4	Hengfeng Yu	China	0:16:06	5:22	104.9
5	高木 優彩	Japan	0:16:49	5:36	109.6
6	Zhaotong Jiang	China	0:17:01	5:40	110.9

W18 2.9km 30m↑ 13 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Man Hei Meri Yau	Hong Kong China	0:14:40	5:03	100.0
2	Shenyuan Zhang	China	0:15:40	5:24	106.8
3	Yiu Yiu	Hong Kong China	0:15:52	5:28	108.2
4	Xinyue Zhang	China	0:16:45	5:47	114.2
5	MinKyung Koo	Republic of Korea	0:17:54	6:10	122.0
6	Qiying Peng	China	0:18:10	6:16	123.9

W16 2.8 km 28m↑ 13 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	石井 百花	Japan	0:13:43	4:54	100.0
2	Jerika Kong	Hong Kong China	0:14:29	5:10	105.6
3	Yi Lian	China	0:15:03	5:23	109.7
4	Soki Wang	Hong Kong China	0:15:12	5:26	110.8
5	LU Yi Fei	Chinese Taipei	0:16:05	5:45	117.3
6	Shu Yu Chung	Chinese Taipei	0:17:11	6:08	125.3

W14 2.4 km 14m↑ 13 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Jiayi Chen	China	0:13:06	5:28	100.0
2	Zhaoxuan Chen	China	0:13:35	5:40	103.7
3	Yau Yeung Chow	Hong Kong China	0:14:35	6:05	111.3
4	Yi Amanda Yuen	Hong Kong China	0:14:36	6:05	111.5
5	Zixin Lu	China	0:14:51	6:11	113.4
6	Hiu Nam Choy	Hong Kong China	0:14:56	6:13	114.0

M20 3.3 km 32m↑ 17 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Junjie Qiu	China	0:13:59	4:14	100.0
2	中村 涼太	Japan	0:14:06	4:16	100.8
3	Jihao Qiu	China	0:14:10	4:18	101.3
4	斎藤 大己	Japan	0:14:14	4:19	101.8
5	大石 涼太	Japan	0:15:09	4:35	108.3
6	Yiyao Liang	China	0:15:34	4:43	111.3

M18 3.1 km 32m↑ 17 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Alok Woo	Hong Kong China	0:13:56	4:30	100.0
2	Yubo Zhi	China	0:14:03	4:32	100.8

3	Pui Lok Siu	Hong Kong China	0:14:30	4:41	104.1
4	小坂 晓慧	Japan	0:14:40	4:44	105.3
5	水野 舞人	Japan	0:14:41	4:44	105.4
6	畠田 裕志	Japan	0:15:15	4:55	109.4

M16 2.9 km 28m↑ 14 コントロール

名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1 西川 稜真	Japan	0:12:02	4:09	100.0
2 Ho Lam Marcus Cheung	Hong Kong China	0:12:16	4:14	101.9
3 Jia Shang Cho	Chinese Taipei	0:12:26	4:17	103.3
4 伊藤 道隆	Japan	0:12:49	4:25	106.5
5 Keng Kiu Wong	Hong Kong China	0:12:51	4:26	106.8
6 Cheuk Yiu Janos Au	Hong Kong China	0:12:59	4:29	107.9

M14 2.6 km 16m↑ 16 コントロール

名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1 Weixu Li	China	0:12:35	4:50	100.0
2 Yixiang Zeng	China	0:13:05	5:02	104.0
3 西野 航平	Japan	0:13:19	5:07	105.8
3 Cheuk Nam Janko Au	Hong Kong China	0:13:19	5:07	105.8
5 Jiangtian Hou	China	0:13:38	5:15	108.3
6 Kin Hay Hendrick Ku	Hong Kong China	0:13:46	5:18	109.4

スプリントリレー種目

M/W20

国別順位	国名/選手名	タイム	min/km
1	Japan1	1:01:46	5:50
	山本 美沙	0:14:13	6:11
	斎藤 大己	0:16:23	5:28
	中村 涼太	0:16:28	5:29
	佐々木 結佳	0:14:40	6:23
2	China1	1:05:37	6:11
	Japan2	1:05:55	6:13
	高木 優彩	0:15:22	6:41
	篠原 本	0:17:01	5:40
	大石 涼太	0:15:44	5:15
	田谷 夏姫	0:17:46	7:43
3	Chinese Taipei 1	1:10:22	6:38

M/W18

国別順位	国名/選手名	タイム	min/km
1	Hong Kong China 1	0:47:30	8:59
2	China1	0:50:31	4:46
	M/W18 Mix1	0:50:54	4:48
	野本 凜太郎	0:10:27	5:58
	宮脇 滉直	0:13:23	5:42
	Tsz Hong Tsui	0:16:06	6:51
	澄川 祐樹	0:10:56	6:15
3	Japan1	0:53:13	5:01
	藤原 菜夏子	0:13:37	7:47
	小坂 晓慧	0:11:51	5:03
	水野 舞人	0:12:41	5:24
	椎名 皆咲	0:15:02	8:35

M/W16

国別順位	国名/選手名	タイム	min/km
1	Japan1	0:52:27	6:33
	石井 百花	0:12:22	7:04
	西川 稜真	0:12:10	5:24
	伊藤 道隆	0:12:17	5:28
	勝田 夏妃	0:15:37	8:55
2	Hong Kong China 2	0:53:15	6:39
	Hong Kong China 1	0:54:31	6:49
3	China1	0:57:17	7:10

M/W14

国別順位	国名/選手名	タイム	min/km
1	China1	0:48:01	7:04
	China3	0:51:33	7:35
	China2	0:53:18	7:50
2	Japan1	0:54:27	8:00
	源後 彩乃	0:12:02	7:18
	西野 航平	0:12:10	6:57
	清水 溪杜	0:14:51	8:29
	植松 里咲子	0:15:23	9:19
3	Hong Kong China 1	0:57:34	8:28
	M/W14 Mix1	1:02:39	9:13
	勝田 有美	0:19:59	12:07
	星野 道太朗	0:14:11	8:06
	Jia Jin Cho	0:16:19	9:19
	内山 尊	0:12:08	7:21

M/W14 Mix2		DISQ	
植松 健人		0:12:20	7:28
Sai Cheung Wong		0:15:27	8:50
白石 太郎		0:18:52	10:47
DNS			

ミドル

W20 2.7km 130m↑ 11 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	佐々木 結佳	Japan	0:27:58	10:21	100.0
2	HengFeng Yu	China	0:28:38	10:36	102.4
3	山本 美沙	Japan	0:28:40	10:37	102.5
4	Pui Yuet Siu	Hong Kong China	0:29:09	10:48	104.2
5	田谷 夏姫	Japan	0:29:21	10:52	104.9
6	Yun Jen Lin	Chinese Taipei	0:35:42	13:13	127.7

W18 2.4km 140m↑ 8 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	Yiu Yiu	Hong Kong China	0:36:53	15:22	100.0
2	Man Hei Meri Yau	Hong Kong China	0:38:30	16:02	104.4
3	Yuanyue Fang	China	0:41:16	17:12	111.9
4	Shenyuan Zhang	China	0:42:49	17:50	116.1
5	渡邊 心葉	Japan	0:45:08	18:48	122.4
6	PinAn Hsieh	Chinese Taipei	0:51:01	21:15	138.3

W16 2.1km 90m↑ 9 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	石井 百花	Japan	0:18:36	8:51	100.0
2	Jerika Kong	Hong Kong China	0:20:01	9:32	107.6
3	Lejia Geng	China	0:23:51	11:21	128.2
4	Pui Ching Chung	Hong Kong China	0:23:54	11:23	128.5
5	勝田 夏妃	Japan	0:24:38	11:44	132.4
6	Soki Wang	Hong Kong China	0:25:24	12:06	136.6

W14 1.7km 70m↑ 6 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	勝田 有美	Japan	0:21:14	12:29	100.0
2	Jia Yi Chen	China	0:21:28	12:38	101.1
3	Sunxin Chen	China	0:22:40	13:20	106.8
4	Lingxi Hao	China	0:23:14	13:40	109.4
5	Zhaoxuan Chen	China	0:23:39	13:55	111.4
6	植松 里咲子	Japan	0:25:31	15:01	120.2

M20 3.5km 210m↑ 11 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	石原 尋季	Japan	0:30:46	8:47	100.0
2	斎藤 大己	Japan	0:31:37	9:02	102.8
3	大石 涼太	Japan	0:34:01	9:43	110.6
4	中村 涼太	Japan	0:35:41	10:12	116.0
5	YiYao Liang	China	0:41:50	11:57	136.0
6	Kun Dao	China	0:41:56	11:59	136.3

M18 3.0km 180m↑ 10 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	畠田 裕志	Japan	0:26:04	8:41	100.0
2	水野 舞人	Japan	0:28:02	9:21	107.5
3	Pui Lok Siu	Hong Kong China	0:29:13	9:44	112.1
4	小坂 晃慧	Japan	0:29:15	9:45	112.2
5	YuBo Zhi	China	0:32:25	10:48	124.4
6	Alok Woo	Hong Kong China	0:32:55	10:58	126.3

M16 2.3km 130m↑ 9 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	野本 凜太郎	Japan	0:19:52	8:38	100.0
2	Cheuk Yiu Janos Au	Hong Kong China	0:20:01	8:42	100.8
3	Tsz chun Kwong	Hong Kong China	0:21:22	9:17	107.6
4	Yu Man	Hong Kong China	0:21:49	9:29	109.8
5	Ho Lam Marcus Cheung	Hong Kong China	0:22:03	9:35	111.0
6	Changyu Chen	China	0:22:31	9:47	113.3

M14 1.8km 70m↑ 8 コントロール

	名前	国/地域	タイム	min/km	タイム比
1	内山 尊	Japan	0:18:07	10:04	100.0
2	Weixu Li	China	0:19:15	10:42	106.3
3	Jiangtian Hou	China	0:19:29	10:49	107.5
4	Yichen Liu	China	0:20:33	11:25	113.4
5	清水 溪杜	Japan	0:21:30	11:57	118.7
6	Yunshan Long	China	0:23:35	13:06	130.2

以上